

2006 年度

科目名 児童サービス論演習	対象学科・学年 文学部コミ4回生	担当者 中道 厚子
授業テーマ 図書館において、実際に児童と資料をつなぐために、どのようなサービスが可能かを理論と実践の両面から考える。		
授業の概要と目標 児童の発達段階に応じたサービスの具体的な手法知り、実際に子ども達の前でそれをやってみることで、資料と児童を結びつける力をつける。		
評価方法 課題への取り組み姿勢と、レポートで評価する。		
テキスト 必要に応じて指示	著者	出版社
参考書 必要に応じて提示	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 児童サービスの目的 2. 児童サービスの現状 3. 児童サービスの問題点 4. 子どもと資料を結びつけるための手法①絵本・紙芝居 5. 子どもと資料を結びつけるための手法②ペープサート 6. 子どもと資料を結びつけるための手法③お話ストーリーテリング 7. 子どもと資料を結びつけるための手法④ブックトーク 8. 子どもと資料を結びつけるための手法⑤パネルシアター 9. 子どもと資料を結びつけるための手法⑥その他 10. 児童サービスを計画する 11. 児童サービスを準備する 12. 児童サービスの最終チェックをする 13. 児童サービスを実施する①公立図書館 14. 児童サービスを実施する②その他の機関 15. 反省会		